

令和元年度第2回沼田市総合教育会議会議録

- 1 開催日
令和2年2月20日（木）
- 2 場所
テラス沼田 庁議室
- 3 出席者
沼田市長 横山 公一
沼田市教育委員会
教育長 横坂 隆司
委員 飯田富美子
委員 平形 昇
委員 中村 俊生
委員 高橋 昭紀
事務局
藤井隆教育部長、北澤昇教育総務課長、角田義行学校教育課長、角田浩生涯学習課長、小池雅典文化財保護課長、川田正樹スポーツ振興課長、鶴淵佳秀教育総務課長補佐
- 4 開会 午前9時30分
- 5 市長挨拶
- 6 会議録署名人の指名
市長が平形委員を指名
- 7 議事
議長：横田市長
議題
(1) 令和2年度実施予定事業について
○各課長から説明

◎主な意見

中村委員)
・ふるさとぬまた未来創造奨学金について、卒業後、市内に定住して就労しなければ返還ということなのか。
学校教育課長)
・現段階で詳細は決定していないが、そのように想定している。
市長)
・令和3年度に、新たに大学等に入学する人から適用となるよう予算化する予定であり、細かなところは決まっていないので、教育委員の皆さんから多くの意見をいただきたい。

飯田委員)

・市内に定住し就労した人が、数年後に市外に引っ越す場合はどうなるのか。

学校教育課長)

・現段階で詳細は決定していないが、一定期間、定住及び就労しない方は、奨学金の返還を想定している。

平形委員)

・定住は何年か、また、連帯保証人など明確に規定し、しっかりした制度を作成すべきである。

学校教育課長)

・委員ご指摘のとおり検討したい。

高橋委員)

・保護者の所得制限はあるのか。

学校教育課長)

・現段階で詳細事項は決定していない。

中村委員)

・奨学金の返還を求める場合、一括返済を求めるのか。

学校教育課長)

・現在、検討中である。

飯田委員)

・スクールバス等運行事業について、バスを購入するのか、現在のバスの運転手の経費なのか。

教育総務課長)

・本事業はスクールバス運行委託料であり、直営のスクールバス運転手の報酬やバスの購入費用は、別事業に計上してある。

平形委員)

・スクールバスは全部で何台あるのか。

教育総務課長)

・9台である。

平形委員)

・子供の数が少なくなっているのので、マイクロバスではなくタクシー等を検討した方が良いのではないか。

教育総務課長)

・14人乗りの車の購入等を検討しているところである。

平形委員)

・沼田かるたが白沢、利根を含み改訂されたが、市民に浸透していないような気がする。教育だけではなく、観光、地域振興も含め沼田かるたの札を紹介する冊子等を作成してはどうか。

生涯学習課長)

・沼田かるたの利活用としてクリアファイルの作成を予定しており、冊子等の作成については検討中である。沼田かるたの普及については、まずは、子供からということに取り組んでいるところである。

飯田委員)

- ・民俗芸能保存事業について、委託料は各団体へ均等に交付しているのか。

文化財保護課長)

- ・均等ではなく、各団体の活動状況に応じて交付している。

平形委員)

- ・民俗芸能などの文化財の維持は必要なことである。特に道具など多額の費用を要するものもあり、他部局との連携も含め助成について検討されたい。

文化財保護課長)

- ・民俗芸能など無形の文化財の道具には、民間の補助制度を紹介している。

飯田委員)

- ・民俗芸能の保存を切に願っているが、少子高齢化による後継者問題が心配である。

文化財保護課長)

- ・学校や地域に働きかけを行い、後継者問題を含めた民俗芸能の保存継承に努めている。

中村委員)

- ・教育用コンピュータ管理事業について、年次計画による整備が完了すれば経費は減っていくのか。

教育総務課長)

- ・リースにより機器を導入しており、予算はリース料及び保守料である。毎年、ほぼ同じ経費が必要となる。

中村委員)

- ・図書館施設整備事業について説明があったが、市立図書館、公民館図書室、学校の図書室で連携した検索システムがあれば利便性が向上すると思うが。

生涯学習課長)

- ・現在、市立図書館、白沢公民館図書室、利根公民館図書室では連携した検索システムが稼働している。学校の図書室との連携については、今後、研究したい。

飯田委員)

- ・学校教育支援事業について、支援員等は学校にとって非常に大きな存在であると思うが、新年度に増員の予定はあるのか。

学校教育課長)

- ・支援員等について、人数は今年度と同数を、各学校の状況を勘案し配置する予定である。

(2) その他 なし

8 閉会 午前10時10分